



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月14日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川栄胤
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	13	-	△32	-	△30	-	△6	-
26年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.13	-
26年3月期第1四半期	-	-

※ 当社は、平成26年3月期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成26年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,630	4,148	89.6
26年3月期	4,768	4,153	87.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,139百万円 26年3月期 4,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	-	-	0	0
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	0	0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通期	510	△17.1	11	-	11	-	90	△96.7	1.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	49,243,000株	26年3月期	49,243,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	40,214株	26年3月期	40,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	49,202,786株	26年3月期1Q	22,461,479

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動があったものの、緩やかな回復を続けております。しかしながら、中小企業まで景気回復が浸透するまでには少々時間を要する状況となっております。

レジャー業界においては旅行業界が徐々に回復が進んでいるのと比較すると興行業界は未だ回復が進んでおらず依然厳しい状況が続いております。

そのようななか、当社は平成26年4月から同年5月にかけて中日劇場の各公演に対する販売協力をを行い、又平成26年6月に中京テレビ放送株式会社、株式会社中京テレビ事業との三社共催による「市川海老蔵ABKAI2014」を行い、歌舞伎ファンのみならず、多くの方々に喜んでいただきました。又平成26年10月には昨年と同様、「錦秋名古屋顔見世公演」を予定しており、営業活動の他にキャンペーン活動を行う予定をしております。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高1千3百万円となりました。利益面では、営業損失3千2百万円、経常損失3千万円、四半期純損失6百万円となりました。

なお、当第1四半期累計期間より、当社の報告セグメントは単一セグメントとなりましたので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、45億2千8百万円となり、前事業年度末に比べ8億3千9百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億円、売掛金が2千5百万円減少したものの、未収入金が9億9千2百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、1億2百万円となり、前会計年度末に比べ9億7千6百万円の減少となりました。この主な要因は、長期未収入金が10億円減少したことによるものです。この結果、総資産は、46億3千万円となり、前事業年度末に比べ1億3千7百万円の減少となりました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、1億3千7百万円となり、前事業年度末に比べ1億3千1百万円の減少となりました。この主な要因は、買掛金が9千1百万円、未払法人税等が5千2百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、3億4千5百万円となり、前事業年度末に比べ0百万円の減少となりました。この結果、負債合計は、4億8千2百万円となり、前事業年度末に比べ1億3千1百万円の増加となりました。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、41億4千8百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が6百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内では少子高齢化・人口減少の時代となり、企業収益もグローバル競争の中で業績の二極分化がさらに進むことが見込まれます。前年度末には消費税増税前の駆け込み需要もあり景気回復基調となりましたが、個人消費の全体的な引き上げまでにはいたっておらず不透明な状態が継続していることから、演劇興行を主とする当社にとりましては、なお非常に厳しい経営環境が続くことは避けられないものと予想されます。

こうした状況に対処するため、当社は、迅速な意思決定を図り、経営の合理化をさらに推し進めるとともに、潜在需要を開拓し、売上向上と顧客満足のために営業活動を展開していくことが最重要課題であると考えております。

劇場事業では、歌舞伎公演を軸に多様化する顧客ニーズを的確に踏まえた演劇の提供を図り、演劇ならびに劇場空間を充実させ、魅力のある興行を実施してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,599,739	3,499,283
売掛金	32,550	6,756
貯蔵品	685	883
未収入金	8,366	1,001,353
その他	50,456	23,176
貸倒引当金	△2,942	△2,942
流動資産合計	3,688,856	4,528,511
固定資産		
有形固定資産		
建物	677	620
土地	1,129	1,129
リース資産	4,936	4,154
有形固定資産合計	6,743	5,904
無形固定資産		
無形固定資産	122	108
投資その他の資産		
投資有価証券	40,674	41,522
関係会社株式	24,000	46,990
長期未収入金	1,000,000	-
その他	7,603	7,763
投資その他の資産合計	1,072,278	96,276
固定資産合計	1,079,145	102,289
資産合計	4,768,002	4,630,801

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,529	4,750
未払法人税等	57,385	4,924
前受金	-	11,851
その他	115,006	115,960
流動負債合計	268,921	137,486
固定負債		
リース債務	2,081	1,675
繰延税金負債	321,640	321,584
退職給付引当金	21,843	21,925
固定負債合計	345,565	345,185
負債合計	614,486	482,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,121,437	2,121,437
資本剰余金	1,987,121	1,987,121
利益剰余金	71,285	64,996
自己株式	△34,465	△34,465
株主資本合計	4,145,379	4,139,090
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,135	9,039
評価・換算差額等合計	8,135	9,039
純資産合計	4,153,515	4,148,129
負債純資産合計	4,768,002	4,630,801

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,750
売上原価	16,175
売上総損失(△)	△2,424
販売費及び一般管理費	30,042
営業損失(△)	△32,466
営業外収益	
受取利息	215
受取配当金	1,155
還付加算金	426
その他	245
営業外収益合計	2,042
営業外費用	
支払利息	62
その他	221
営業外費用合計	283
経常損失(△)	△30,707
特別利益	
受取寄付金	22,990
特別利益合計	22,990
税引前四半期純損失(△)	△7,717
法人税、住民税及び事業税	△1,428
法人税等合計	△1,428
四半期純損失(△)	△6,289

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は、従来「劇場」「不動産賃貸」「老人ホーム」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期累計期間より単一セグメントになっております。これは、前事業年度に、旧御園座会館を売却し不動産賃貸事業から撤退したこと、連結子会社であったミソノピア株式会社の株式を譲渡したことにより老人ホーム事業から撤退したことによるものであります。当該事象により、当社は劇場事業のみの単一セグメントとなることから、当第1四半期累計期間のセグメント記載を省略しております。